

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 10 月 28 日作成 第 1 版

研究課題名	人工股関節置換術における 3 次元動体解析による股関節可動域に関する後ろ向き研究
研究の対象	2023 年 10 月から 2024 年 10 月までに横浜市立大学附属市民総合医療センター整形外科において人工股関節置換術を受けた患者さんを対象とします。
研究の目的	人工股関節置換術では、術前に撮影した CT 画像を用いた術前計画、シミュレーションが利用されています。挿入する人工関節の位置や、骨盤、大腿骨の条件を変更して股関節可動域のシミュレーションを行い、今後の手術手技の向上に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、人工股関節置換術について検証します 手術前に実施した CT 画像をシミュレーションソフトに取り込み、設置する人工関節や骨の条件を変更して股関節可動域のシミュレーションを行います。 通常の診療目的に得られた画像情報を用いますので、研究対象の方に新たなご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 2 月 10 日（研究機関の長の許可日）～西暦 2026 年 12 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 2 月 10 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の 項目	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 これらは、手術から 2024 年 10 月 31 日までの経過を収集します。 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、合併症など 2) 血液検査：血算、凝固、生化学、骨代謝マーカー 3) 治療内容（投与薬剤、術式） 4) 画像所見（X 線、CT、MRI） 5) 治療効果：HHS スコア、WOMAC スコア、SF-36、跛行の有無 6) 有害事象：神経麻痺、深部静脈血栓塞栓症の有無 7) 予後：再置換の有無、脱臼の有無、人工関節のゆるみ
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供される可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管 理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 東平 翔太
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究で使用するシミュレーションソフトや、シミュレーションを行うインプラントの製作会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科（研究責任者）東平 翔太
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科（研究責任者・問い合わせ担当者）東平 翔太 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-252-7470</p>	